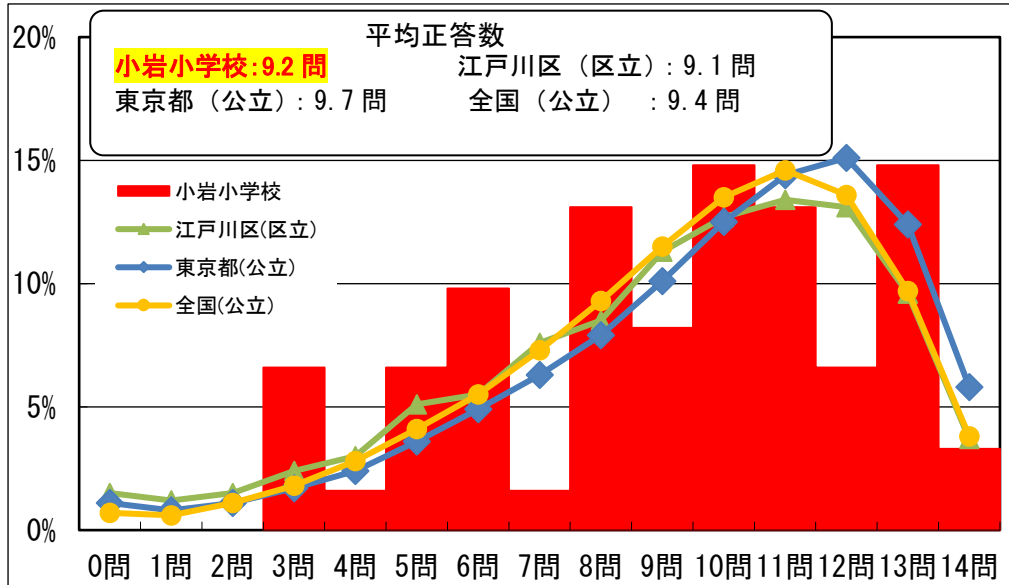


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 小岩小学校

正答数分布



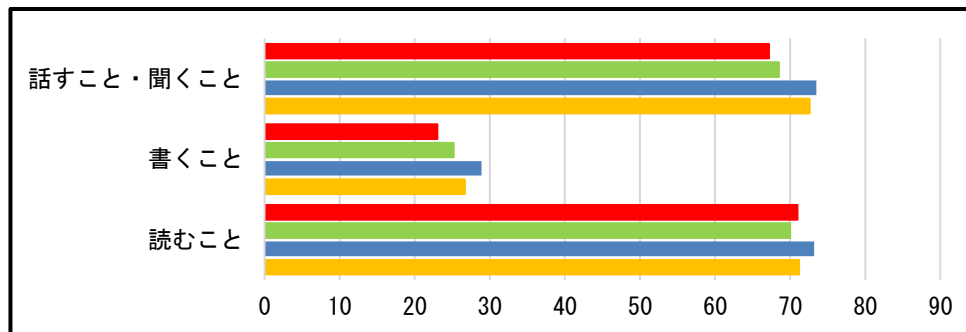
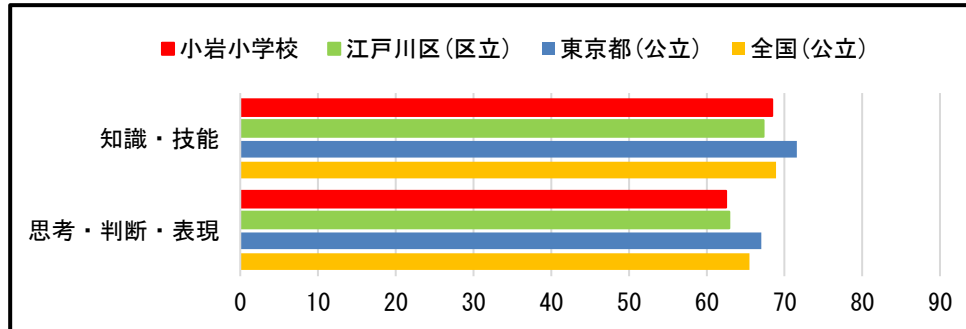
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
小岩小学校	24.7	27.9	21.3	26.2
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

小岩小学校	65%
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	4ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

<分析>

平均正答率 65%は、都より 4%低く区と同じ値である。AB層は約 53%で都より低く区とほぼ同じで B層が多い。「読むこと」「話すこと・聞くこと」が約7割の正答率に対し、「書くこと」は約2割で極端に低い。

<授業改善>

基礎基本を身につける指導を継続するとともに、問題解決的な学習に基づく指導を継続し、読み取ったことや考えたことを、設定された条件に合う形式でまとめるような学習も増やす。児童同士で説明し合い理解を深める学習は継続し、「情報と情報の関係」については、考えたり確かめたりする学習の中で見通しをもてるようにする